

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)																		
ET451018		家庭科指導法演習(Seminar in Teaching Method of Home Economics)					教科実践																		
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	担当教員																			
選択	2	1	大学院教育学研究科	後期		氏名 財津庸子 E-mail yzaistu@oita-u.ac.jp 内線 7601																			
授業の概要	家庭科指導法特論などにおける学習成果を基礎として、今日学校において生じている課題のうち、特に家庭科の指導に関する事項について、実際の事例を受講生自身が調べ、その改善方法について受講生とともに検証する。																								
具体的な到達目標										DP等の対応(別表参照)					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
目標1 調査に基づき、学校で生じている家庭科の指導に関する課題を説明できる。																									
目標2 家庭科の指導に関する課題の改善方法について、具体的な提案をすることができる。																									
目標3																									
目標4																									
目標5																									
目標6																									
目標7																									
目標8																									
目標9																									
目標10																									
授業の内容																									
1 今日学校で生じている家庭科の課題について(前期の授業の振り返り)																									
2 学校における調査方法,計画の立て方																									
3 調査の視点について(受講生による調査計画の発表)																									
4 具体的な調査方法,計画(受講生による調査計画の発表)																									
5 学校における調査の中間報告(受講生による報告と議論)																									
6 学校における調査の中間報告(受講生による報告と議論)																									
7 学会誌等家政学関連の文献における家庭科に関する課題についての議論																									
8 学会誌等家政学関連の文献における家庭科に関する課題についての議論																									
9 学校における調査の進展状況の報告(受講生による報告と議論)																									
10 調査に基づいた課題の把握と改善方法に関する提案(発表,議論)																									
11 調査に基づいた課題の把握と改善方法に関する提案(発表,議論)																									
12 これまでの調査および文献等から見いだされた課題の整理																									
13 課題解決に関する議論																									
14 課題解決に関する議論																									
15 授業のまとめ																									
ラーニング	A:知識の定着・確認		資料収集・分析、調査準備・実施・分析、意見交換・相互評価、具体的提案		工夫その他の																				
	B:意見の表現・交換																								
	C:応用志向																								
	D:知識の活用・創造																								
時間外学習の内容と時間の目安	準備	小中学校の家庭科教科書・学習指導要領解説家庭編、参考資料の講義該当箇所の予習(15h)																							
	事後	小中学校の家庭科教科書・学習指導要領解説家庭編、参考資料の講義該当箇所の復習(15h)																							
	学修	調査に関する作業や整理(10h)																							
教科書	特に指定しない																								
参考書	文部科学省や国立教育政策研究所などのwebサイト(授業中に指示する)																								
成績評価の方法及び評価割合	評価方法	割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10													
	レポート	50%																							
	課題	50%																							
注意事項	学会誌等家政学関連の文献における家科に関する課題については、受講生が話題を提供する。																								
備考	受講生は2~3名を想定して授業計画を組んでいる。																								
リンク																									
	URL																								

担当教員の 実務経験の 有無	
教員の実務 経験	中学校・高等学校の家庭科教員
実務経験を いかした教 育内容	実際の教育現場における指導経験や専門的知識・技能が、学校教育現場の理解に基づく指導のあり方や指導案等に活かす。